

戸畑区

## 住民発!福祉のまちづくり計画で地域を元気に!

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のための活動は、地域の特性や課題に応じて展開されています。その中でも5年後のまちの将来を見据えて長期的、段階的な取り組みを考える、福祉のまちづくりのための住民の行動計画～小地域福祉活動計画づくり～に、いち早く取り組んだ地区社協を紹介します。(南里 佳代子)

### 浅生地区社会福祉協議会

= 4,686世帯・人口9,715人・高齢化率24.0% =

ホームページ

#### ■多くの人を巻き込んで「みんなの」計画に!

浅生地区は戸畑区のほぼ中央に位置し、行政機関や病院、商業施設、大型マンションも多く、商業・住宅混在の地域ですが、やはり高齢化は進んでいます。

「人は一人では生きられない、お互いに助け合いながら生きてよかったと思えるまちにしたい」、そんな願いをこめて、浅生地区では、地域のさまざまな人に呼びかけ、計画策定委員会のメンバーを集めました。

草木正人会長自らがお願いに行ったり、地区社協のホームページを活用して公募したりすることで、小・中学校や子ども会、商店街、病院、施設職員、地域住民等も策定委員会に加わりました。

#### ■具体的に動くための共通の目標が定まった!

7回の策定委員会を通じ、地域のさまざまな福祉課題を整理・分析し、それらを踏まえた目標や具体的取り組みを考えることで、みんなで同じ方向を向いて将来のまちの姿が描けるようになってきました。

多世代交流会の充実、高齢者のサロン活動等5つの重点項目を掲げ、4月から早くも計画を実践しています。



“みんなが主役”のふれあい交流会

### 牧山地区社会福祉協議会

= 2,058世帯・人口4,272人・高齢化率31.6% =

ホームページ

#### ■「思い」を計画に盛り込んで、住民活動に!

丘陵地域で高齢化率が高く、少し前にはなかったような課題も出てきたという牧山地区でも、「日頃自分たちが感じていることを具体化できれば」と、計画づくりに取り組みました。

「以前は確かにあった近隣関係が、薄れてきた。震災を機に、今何かしておかなければいざというときに動けないと思った」と、原 仁会長は言います。

#### ■活動の優先順位や重点が明確になった!

起伏が激しい地形で複雑な道も多い等の「生活上の課題」とともに、住民だけでなく福祉協力員等活動者自身の高齢化等の「活動上の課題」を明らかにすることで、今何が必要か、継続的に進めなければならないことは何か、などが具体的に見えてきました。また、これまでの活動がうまく展開されてきたかを振り返ることにもつながりました。

災害を想定した福祉救援体制づくりは、みんなで決めた重点項目の一つで、今年度からふれあいネットワークのメニュー事業としても取り組みます。定期的な話し合いの場、連絡調整会議でも、「まずは防災マップづくりを!」との声も出て、地域全体が盛り上がって来ました。



連絡調整会議で防災について学ぶ

### 九州電力からのお願い

### 今夏における節電へのご協力をお願い

- 需給ひっ迫が予想される、7/2(月)～9/7(金)の平日(お盆期間8/13～8/15を除く)の9時～20時について、一昨年比▲10%程度以上の使用最大電力の節電をお願いいたします。
- 特に、気温が高く電力需要がピークに達する時間帯(九州では13時～17時)において、重点的な節電をお願いいたします。
- また、上記期間・時間帯以外につきましても、お客さまの生活に支障のない範囲での節電に、引き続きご協力をお願いいたします。

! エアコンの控え過ぎによる体調不良に気をつけて無理のない範囲で節電をお願いいたします。屋内でも熱中症などにかかることがありますので、普段から、室温管理や水分補給に留意いただき、熱中症などには十分にご注意ください。特に、ご高齢者、乳幼児、体調・体力に不安のある方は、十分にお気をつけください。

! 節電を意識するあまり、衛生面、安全面及び防犯面で不適切なものとならないようご注意ください。

